

## 令和6年度 第2回 学校運営協議会 議事録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年7月11日（木）14時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 気田小学校 会議室
- 3 出席委員 森下 薫、山下太一郎、山下 晃二、福島 亜弥、森下 裕子、岩本 裕美子
- 4 欠席委員 児玉 和三、清水 恭子、正久 幸廣
- 5 オブザーバー 勝又 真希（気田幼稚園園長）、三谷 憲明（春野支所）
- 6 学 校 堀部 憲一（校長）、野嶋 孝弘（教頭）、田代 萌（CSディレクター）
- 7 教育委員会 井島 健蔵（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 協議事項
  - (1) 議長の選出
  - (2) 学校からの報告
  - (3) 運営協議会の役割の説明（教育委員会）
  - (4) 熟議
  - (5) 今後の予定と主な内容
- 10 会議作成者 田代 萌（CSディレクター）
- 11 会議記録

司会の野嶋孝弘から、委員の参加者数が既定の数に達しているため、会議が成立する旨の報告があった。

### (1) 議長の選出について

司会から、議長の選出について意見を求めたところ、森下薫会長を山下太一郎委員から推挙する発言があり、全員異議なくこれを承認した。

### (2) 学校からの報告

委員に学校のことをしっかり把握してもらうため、さくら連絡網の登録用紙を配布した。コミスクだよりも、協力していただいた地域の方々に向けた、子供からの感謝の言葉を掲載した。

司会から以上2点の報告があった。

### (3) 運営協議会の役割の説明

学校運営協議会の研修会を経て、学校運営協議会メンバーが学校の運営にももう少し積極的にならないといけないと感じた。（森下委員）

ボランティアの協力（親など）あって学校行事が成立し感謝している。学校運営協議会メンバーにも、もっと踏み込んで参加してもらい、力をかりたい。

今の校長は春野町のことをよく知っているが、地域を知らない職員（校長、教頭）が来ても、地域と連携して意見（土台）を作っておけば、おれずにこれからも学校運営を続けられるのではないか。（校長）

校訓、校歌の歌詞を見直して、地域のことを見つめ直し、地域の良さを再確認する。学校に一番残るものは周りにいる地域の方々であり、学校のことを学校内で完結するのではなく、地域の声をきいて学校運営を成立させたい。様々な時代の変化の中で、児童がどういう風に大人になっていってほしいかをメンバー内で共有し、ともに目標をたてていきたい。(井島)

(4) 気田小学校の児童がどんな子に育ってほしいか

「心豊かにたくましく」、「故郷を愛し」などよく使われている言葉だけではなく、春野で生きる上でどういう力をつけてほしいかをよく考えて個人で意見を出してほしい。(校長)

2班に分かれ、付箋に「気田小学校の児童がどんな子に育ってほしいか」を個人に書きだし、さらに、似た意見をまとめて発表してもらった。

A班→相手の気持ちを理解できる子、ふるさとを愛する子、失敗を恐れず色々なことにチャレンジする子、自然の中で遊び危険予測ができるようになる子など「子供らしく・元氣、研究心、ふるさと、関わり、安全」というまとめで意見が出た。

B班→感謝の気持ちが持つことができる子、地域のことを知る、夢や希望をたくさん持てる子、家族を愛せる子、自分に自信を持てる子など「ふるさと、たくましく、挑戦する、思いやり・周りの人を大切にする」意見でまとまった。

(5) 今後の予定と主な内容

第3回 10月15日(火) 14:30~15:30

- ・目指す子供像の具現に向けた学校経営についての話し合い
- ・学校評価項目の検討

第4回 2月17日(月) 14:30~15:30

- ・学校評価・運営協議会の活動についての振り返り
- ・令和7年度学校経営についての説明と承認